

京都聾から“手話の聖地”鳥取へ！

7月26日（金）、第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会が実施されました。審査結果の発表はYouTubeでライブ配信され、本大会へ出場する16チームが決定しました。本校は7年ぶりに大会へエントリー。全国各地の高校・特別支援学校との激戦を突破し、【演劇・コント・ポエム部門】で本大会への出場を決めました。

参加する2名の生徒は、予選突破に向けて、伝えたい思いを共有し合い、限られた時間の中で練習に励んできました。今後、さらに練習を重ね、本大会ではより一層、磨きのかかったパフォーマンスを見せてくれると思います。温かい応援をよろしくお願いします。



演劇：私たちが出会ったもの



まさか、予選を通過できると思わなかったので、とても嬉しい気持ちになりました。2学期から忙しいと思いますが、台詞を覚えて頑張りたいです！また、多くの人に私たちの想いを届けられるよう頑張りたいです！

予選を通過したとわかった時はとてもびっくりしました。5位という結果でしたが、本大会に出場できることを嬉しく思っています。大会までの2ヶ月間、セリフを覚えたり、表情や動きなどを練習したりしていきたいです。また、私たちの思いを1人でも多くの人に伝えられるように頑張ります！

第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

開催日：令和6年9月22日（日）
会場：米子コンベンションセンター

